

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 弓ヶ濱分教会

大正3年5月14日	設	立
大正3年10月31日	移	転
昭和25年7月26日	神殿	改築
昭和53年4月16日	付属建物	増築
昭和55年10月26日	移転	建築
昭和56年3月7日	奉告	祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。  
つなげよう、信仰の喜びを。

活動  
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



教祖140年祭

立教186年  
11月号



**委員長後継者講習会**  
**開催 9・23 大教会**  
**婦人会**

婦人会笠岡支部(上原きよ枝支部長)は9月23日「委員長後継者講習会」を開催。7人が参加しました。

9時30分開講、支部長様のお話、続いて心も体もリラックスして日頃の思いを各々に楽しく語りあうアイスブレイクをもち、委員長達による心のもった昼食を頂き、午後からは、女鳴物の練習、2時30分閉講しました。

支部長様から、婦人会活動の根本精神は、まぎれもなく「教祖のみ教えに



アイスブレイク

基づくひながたの実践」である。互いに談じあい、諭しあい教会の底力になるように。そして「婦人会たすけ一条の道」代々が繋がるという事は陽気ぐらしへの道に続いていくと締めくくられました。



支部長様お話

午後からの女鳴物練習は、普段中々手に取ることない女鳴物に触れ、短時間であったが真剣に勉強した成果を神殿で御供させて頂いた。

月次祭・秋季霊祭に続いての開催であったが、スタッフを含む委員長後継者達は心新たに年祭に向かうこの旬、若いも若きも心の成人を誓いあい散会しました。



女なりもの練習

(常任委員 岡崎豊子)

**おちばがえり伏せ込み**  
**ひのきしん団参実施**  
**婦人会**

婦人会は11月3日(祝)におちばがえり伏せ込みひのきしんとして移動例会を持たせて頂きました。

午前11時30分、本部神殿でのお願いづとめの後、詰所で窓ふき、扇風機のそうじ、除草などのひのきしんを40人余りの参加者共々にさせて頂きました。

(委員 上原千枝子)





第15回 大教会長杯  
親善スポーツ大会開催

会長室

10月22日に行われました大教会長杯親睦スポーツ大会は快晴のもと、ソフ



トボールが行われ4チームがエントリーしてトーナメント方式で熱戦を繰り広げました。結果決勝戦が同点でジャンケンで制した福山チームが優勝、惜しくもジャンケンで敗れた高屋チームが準優勝。3位が直轄チーム。4位が久松チームでした。グラウンドに集まった老若男女の80人ほどの人達がスポーツを通して汗を流しブロックを越えた親睦を深める事が出来ました。

(掛員 上原志郎)

計報

藤井貞女さん

大教会おつとめ奉仕者

10月27日出直されました。

享年 98才



今年の夏は本当に暑かったですね。そんな新型コロナウイルス感染症も2類から5類へと移行し、少しずつ落ち着きを見せはじめたかに思える今日

この頃ですが、世界へ目を転ずればロシアによるウクライナへの侵攻は未だ停戦の兆しすらみえず、イスラエルによるハマス一掃作戦によりガザ地区は地獄絵図の様相を呈して、連日のニュースに胸痛む日々、そんな中「よりみち」の順番が回って来てさてと思案したあげく、少し前の(40年余り前の)自身の話をさせて頂くことにしました。

私が修養科に入ったのは教祖100年祭の1年前、笠岡の修養科生だけで71人、全体では2千数百人で、朝礼の時などは列の最後尾は鳴り物教室の所まで届いていました。詰所での修練は修練場では手狭で3階の講堂で輪になって勤めました。それだけに、もめ事も多く、けんかもたびたび起こり、教養係の先生方には大変なご苦労をおかけしました。

6・7・8月の修養科に引き続きすぐに青年会ひのきしん隊・一か月隊へ、その時は笠岡で2個班、約50人で勇んだ汗を流させて頂きました。

そしていよいよ年が明ければ、教祖100年祭、私は、約40日間ひのきしんに参加させていただき、黒門前の、特設のテント張りの休憩所で、朝づとめか

ら夕づとめ迄、参拝に帰られる方々にテント内を薪ストーブで暖めて、熱いお茶をお出しするひのきしんをつとめさせて頂きました。

宿泊は天高のあらし寮で、1部屋に7人が寝泊まりをして、なんと私の部屋は私以外6人の方が東北の方で、最初は津軽弁が理解できず会話についていけませんでした。10日も経つと理解出来始めました。その時、一番仲良くなつた方は、お父さんが漁師さんで、

小学校2年生の時、海難事故でお父さんが出直され、それ以来学校へは行けず家の手伝いをしていたそうです。普段は出稼ぎ労働者として生活していました、そんな中、ひのきしんにいられていました。最終日には、東礼拝場でみんなでもろづよ八首を勤めさせていただきました。今書いていてもその時の事がほのぼのと思ひ出されます。

さて、教祖140年祭、国際世界の状況も、地球規模での危機的な状況も、そしてお道の現状も、40年前とはかなり違いますが、全ての事柄に決して無関心にならず出来ることは微々たる事、つたない祈りかもしれません日々積み重ねて140年祭を元気に迎えさせて頂きましょう。

(K T)

# 秋季大祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます  
親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には人間が陽気ぐらしをするのを見て共に楽しみたいとの思召から 人間世界を創造下されお育て下されたばかりではなく 天保九年十月二十  
六日教祖を月日のやしろとしてこの世の表にお現れになり 万一切の真実を  
明かして陽気ぐらしへとお導き下さっております事は誠に有難く勿体ない極  
みでございます 私共は朝夕に御礼申し上げると共に 親心にお応えするべ  
く世界だけを我が心としてたすけ一条の御用の上に努め励まして頂いてお  
ります

その中にも今日の吉日はこの二十六日におちばでつとめられる秋の大祭  
の理を戴いてつとめる大祭の日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕  
人一同 立教の元二日に込められた親心に思いを馳せ 明るく陽気に勇んで坐  
りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には今日の日を楽しみに寄  
り集いました道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御  
礼申し上げる状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い  
申し上げます

さて今月は 大祭月に当たり直轄教会に大祭参拝をさせて頂き「世界いられ  
つたすけたい」との親の思いを再確認し それぞれ定めた目標に向かって教  
えを実践しつつ 今月二十九日に開催されます「ようばく一斉活動日」に勇  
んで参加させて頂いてこの年祭活動一年目の年をひながたを手本に勇んで通  
り切らせて頂くとうと誓い合わせて頂きました

また本日は 島村廣義先生にお越し頂き時旬に当たってのおちばの思いを聞  
かせて頂きます お聞かせ頂く一つ一つをしっかりと心に治めて親神様教祖  
にお喜び頂けるよう精一杯にたすけ一条に邁進させて頂く所存でございます  
何卒親神様には 年祭の旬に一層の成人を目指してたすけ一条に邁進する  
皆の誠真実の心をお受取り下さいまして 人だすけの心が次々と伸び広がり  
よろず互いに助け合って 世界の様々な所で起こっている紛争が治まり お望  
み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一  
同と共に慎んでお願い申し上げます

## 立教百八十六年 秋季大祭 祭典役割表

祭主		扈者		講話		区分		役割																																															
大教会長様	中島誠治	岡崎真一	島村廣義先生	坐り勤	前	半	後	半																																															
賛者	高木昭祥	赤木素志	門脇元教	十二月講話	門脇元教																																																		
指図方	門脇元教																																																						
胡弓	佐藤香苗	岡崎豊子	室悦子	三味線	今川佐智子	三島照美	田中つかさ	小琴	中島誠治	赤木素志	三代温生	すりがね	吉岡壽彦	山田敏教	三島喜	太鼓	今川昌彦	高木昭祥	岡崎治喜	拍子木	中村剛	中村道徳	内海史郎	ちゃんぼん	田中隆之	田林久嗣	渡邊隆夫	笛	森本忠善	上原繁次	杉原善朗	おつとめてをどり	大教会奥様	森本忠善	山野なつ	吉岡八恵	前奥様	前奥様	門脇加津	武内正美	上原繁道	今川昌彦	上原浩	大教会長様	門脇元教	岡田中隆之	三島渉	吉岡誠一郎	横山逸郎	佐藤道孝	上原志郎	岡崎真一	中村義太郎	佐藤真孝	岡田誠